GUIツール　内部設計書もどきもどきもどき

kawaguchi

1. 詳細画面で入力された入力内容の扱いについて

入力された情報を保持するためのclass「Tempsave」を用意する。

各インスタンス、ルーター、内部ネットワークの情報を更に個別のclassあるいはリストに保管する。

最終的にテンプレートファイル出力を実行された時に保管されていた情報をテンプレートファイル出力メソッドに送り、テンプレートファイル出力を行う。

インスタンスぶんで５つ、ルーターぶんで２つ、内部ネットワークぶんで２つ、それぞれclassあるいはリストを予め用意しておく。

入力のあったclassのみ、フラグを立て、フラグが立ったclassの入力内容のみをテンプレートファイルへ反映させる。

作成ボタンをおした時にイベントを発生。

動作は

* TextBoxに入力されている値の取得
* 各ComboBoxで選択され取得されている値、TextBoxから取得された値をリストへ保管
  + 上記の動作は確認できたが、値の入力受付が、どうやらFormを開いたら親Formを起動し直すまでは一度しか受け付けないらしい。何度もイベントを再発生させるにはどうするべきか。

1. 二つ目以降の詳細設定画面について

新しいFormを作成する必要がある。

案としては、構成マップ上で可視状態になったものはフラグを立て、新しいFormに処理を渡す。

* ただしその場合、instance、Routerの数だけ.csファイルが増え続ける。クールではない。

1. instance作成ボタンがクリックされることで、countの数値が増えていく。Countの数値がいくつ以上のときにこのinstanceの内容を最終的にテンプレートファイルへ出力する、というふうな判別方法ができそうだ。
2. 接続先network（Routerについて）

Map上の見た目動作はまだ未完成だが、どちらのnetworkに入力させるかの選択は自由にできるようになった。ユーザーは複数のnetworkから、instance毎に接続先を決めれるようになったのだ。

1. 構成マップの動作について

詳細画面で決定を押された部分はマップに反映させる必要がある。だがここをどうやってマップを動かすのか不明。

MAP上アイコンの可視・不可視でテンプレートファイルへの書き込みを行うかどうかを決定。

要するに「最初から５つのinstanceと２つあるいは３つのRouter、内部networkの編集情報を用意しておき、そのほとんどを不可視にしておく。新規作成ボタンを押すことで可視状態にして書き込みフラグを立てる。テンプレートファイルへ書き込まれるのはあくまでも可視になり書き込みフラグが立ったもののみ」にする。

1. 個数制限について

GUIを用いて一度に作り出すResourcesたちに個数制限を設ける。

1. インスタンス

5つまで。

1. ルーター

２つまで。構成マップで表示できる物理的な（？）大きさのため。

1. 内部ネットワーク

２つまで。ルーターの制限数と同じ。

1. 画面遷移

メインの画面として表示するのは構成マップ。構成マップ上のinstance、Router、内部networkを表す画像をクリックすることで編集画面を表示する。（新しいFormとして新規ウィンドウで表示。その際親Formである構成マップはロックしておく。）各画像付近（？）に配置されている（新規作成）ボタンをクリックすることで、「不可視で書き込みフラグが立っていない状態で待機している同系統のモノ」を可視状態にし、書き込みフラグを立てる。

1. あ
2. あ